

# 令和6年度第3回学校運営協議会議事録

日 時：令和7年2月18日（火） 14：00～15：30

場 所：会議室1

参加者：7名＋9名（学校職員）

記 録：菊地 紀子・荒木田 幸子

配布資料：・運営協議会資料

- ・令和6年度全体反省会資料
- ・令和6年度学校評価
- ・令和6年度総合学科全体学習発表会アンケートまとめ
- ・令和7年度教育課程

- 1 開会
- 2 校長挨拶
- 3 学校運営の取り組み状況について
- 4 各分掌の取組状況について
- 5 学校評価について
- 6 質疑応答及び意見交換
- 7 閉会

議長：松尾 芳弘会長

## 1 開会（副校長）

## 2 校長挨拶

始業式で話した決意、「学校は学びの場」時間を大切にし、①逃げずに学ぶ、相手へリスペクトを大切にすることを大きな柱にしてきた。

## 3 学校経営の取組状況について（校長）

### （1）学校経営計画

今年度学校の主役は生徒ということで評価法を変えた。生徒のアンケートを中心に。保護者の意見も参考にしている。評価分析7ページどの項目も指標をクリアした。子ども達の方が評価が厳しいように思う。

### （2）命を守る教育

今年度は命に関わる大きな事故はなかった。他校ではあったところもある。課題がないわけではない。

### （3）生徒の活躍

県内、東北大会、全国大会。校長室に優勝旗6本ある。演劇の優勝旗もある。演劇部は12月に大館で行われた東北大会で入賞、2月に広島で行われる全国大会に出場する。将棋はク

ラブではないが全国大会に出場した。また、総合的な探究の時間は12月27日総合学科発表会で成果を報告した。

#### (4) 総合的な探究の時間

一関ドック（一関ミート）、かぼんしえ（松栄堂）など、地域企業との連携により活発な活動を行い、自分自身を高めることができた。学校は地域支えられているありがた。

#### (5) 課題

交通事故について：一関二高は登校中事故が起りやすい場所にある。保護者からの協力も頂きながら交通安全に努めている。自転車による事故も多いため、ヘルメット着用の指導をしていきたい。

部活動について：生徒の自発的な活動。部活に意欲をもっている生徒も多いが、加入率が低くなってきている。加入を義務としていないので今後も加入率が下がる可能性がある。

少子化に関わる高等学校のあり方：来年度入学生200名に対して217名（現在）志願あり。盛岡以外で1倍を超えるのは難しい中で健闘。今後も生徒の母校を卒業後も存続させるために魅力を発信していかなければならない。

### 4 各分掌の取組状況について

#### (1) 総務課：

- ・PTA入会式の出席者を明記すべきであった。
- ・職員会議などの資料：資料を紙で提出してもらいPDFにしている。事務室用に印刷しているがペーパーレスにしたい。PDFでの原稿提出を進めるなど努力したい。
- ・PTA役員会：第2回役員会の参加者がとても少なかった。懇親会の実施を計画したが逆効果だったかもしれない。来年度以降実施の仕方を検討したい。
- ・PTA研修旅行：岩手県立大学、自衛隊を見学など行った。自衛隊との交渉を行っているうちに11月になってしまったが、来年度は9月に行きたい。
- ・委員会活動について：各委員会の人数に偏りがある。1年次の役員の希望制にするとそうなるので、検討必要。
- ・文化祭：餅まきは好評。名物にしていきたい。ひし形の餅の形が頭にあたると危険なのではないかという懸念や子ども達にいき渡るようにするなどの課題について検討が必要。
- ・同窓会：まもなく創立120周年である。同窓会総会に新卒者を取り込みたいが、なかなかうまくいかない。今後も幹事に働きかけるなどしていきたい。
- ・PTA会計について：活動費を有効に使って欲しい。残金が多いと活動が少ないように見えてしまう。
- ・eメッセージ：上手くいっている。登録は入学時にお願いしている。今後も続けたい。

#### (2) 教務課

- ・教育課程の編成、流れをつくることができた。曖昧な部分を明確にするよう取り組んだ。しかし、検討の時間を十分に持つことができなかった。

- ・学力向上に向けて教員の資質向上を図っていく。
- ・家庭学習の習慣の確立が出来ていない。次年度以降は学習時間の確保をどうするか検討が必要
- ・教員の研修への参加促進が出来ていない。校内研修会も参加が少ない。実施方法を変えるなど工夫したい。こうすることが生徒への還元、学力向上につながると思われる。
- ・総合学科の発表会は好評。次年度も引き続き実施していきたい。皆が参加しやすい時期の模索をしている。
- ・体験入学を「オープンスクール」に名称変更。中学生から好評であった。
- ・学校の魅力発信として「note」による情報発信に力を入れていきたい。特に学習に関わる系列の活動の発信に力を入れたい。

### (3) 生徒課

- ・部活動は校長が紹介した以外にもバトミントン男子、卓球部女子の上位大会がある。このように生徒の活躍はうれしいが、予算が足りなくなっている。
- ・部活動未加入は5%位で、他校に比べて比較的に入部している方だ。
- ・部活動の大きい事故はなかった。
- ・自転車ヘルメット着用の義務化を検討
- ・外部からのお叱り：生徒の自転車に加えて自家用車のマナー（強引な運転）が悪いという指摘もあった。
- ・いじめ5件認知。4件解消。1件はいま対応中。早めに対処。重大事態には至らず。
- ・スマートフォンの使い方について：ルール作りをしていかななくてはならない。
- ・文化祭について：文化センターでの文化部等の発表は好評。次年度以降も続けていくが、保護者からの土日開催の要望は会場使用の関係で難しい。次年度も金曜日。
- ・制服：次年度から女子用のスラックスを導入。任意である。
- ・色々なことに対して、時代を見ながら対応していきたい。

### (4) 進路指導課

- ・何といても進路目標の達成が目的。
- ・167名/190名現在決定。多くが2月25日国公立大学の前期試験に向けて頑張っている。
- ・結果国公立4年制16名　私立4年生大学51名。国公立短大2名、私立短大10名、短期大学校1名、医療系26名、民間就職24名、公務員11名、将棋棋士希望1名
- ・土曜学習会の廃止をしたが、進路は昨年並みでそれほど影響はなかったのではないかと。また、早めに平日課外をスタートして進学指導を行った。
- ・総合型推薦、年内入試の増加し、それらが主流になってきている。よって進学活動は今までより前倒していく必要が出てきている。次年度は7月から始めたい。（夏休み前）
- ・長期的な展望では、共通テストのあり方が変わる。来年から個々でウェブ出願となるので、これまでの考え（短大以上の進学は全員受ける、学校で引率して受験する）を見直す必要も

でてくるのではないか。(すぐでなくても。)

## 5 学校評価について

- ・ 7ページに分析：重点目標の生徒に関わることはアからカまでで、生徒のアンケートを元に分析した。
- ・ 生徒による評価：肯定的評価80%以上15項目そのうち11項目が90%。・ 2項目8割を切った。
- ・ 保護者による評価：やや不十分、不十分20%以上が7項目と増える。教員の授業への取り組みの評価が生徒と乖離している項目もあった。
- ・ 保護者との連携強化を図りたい。
- ・ 生徒と教員の評価肯定的評価が80%を超えるものがほとんどで、大幅に上昇した。
- ・ 学校の地域住民との連携の評価が67.9%と低い。情報発信していきたい。
- ・ 評価の回収率：formsを使用しているが低い。やり方を変えるなど工夫が必要。
- ・ 本年度の評価結果を元に来年度に改善していきたい。
- ・ 探究活動についての3年生の評価：アンケートを見ると肯定的、進路達成に役だったという意見が多数。外部からの評価も高い。
- ・ 生徒・保護者のアンケート回収率が低い。特に保護者の回収率が低いため、三者面談でQRコードを掲示するなど工夫して、回収率の向上を目指す。

### 【総合学科全体学習発表会について】

1枚目3年次の探求の活動を振り返ったアンケート。

とても役に立った、自己の進路実現に役立ったという感想が多く、今後も進路と連動させて取り組むことで生徒の進路実現に役立てていきたい

P2以降は来賓、最後のページは保護者・一般からの感想、ご覧いただきたい。

## 6 質疑応答及び意見交換

(質問：委員)

前回に会議で後ほど回答するとなっていた内容は怎么样了のか。

(回答：副校長)

教務の魅力化コーディネーターの実績について：3ページの3魅力化協働パートナーの一覧のとおり、その他2名3年生の総合的な探究で生徒対応。探究でアドバイス、外部機関とのつなぎをお願いした。

(質問：委員)

どう連携するか検討しなければならないと思い、前回聞いた。実際パートナーというのはどうしているのか。

(回答：校長)

パートナーはアドバイス等頂くなどちょっと関わっているだけでも挙げさせてもらっている。

細かい活動までは問題としていない。

(質問：委員) コーディネーターとパートナーとは違うのか。

(回答：校長、副校長) 違う。

(質問：委員)

どういう位置づけで魅力化協働パートナーとなっているのか。

(質問：委員)

例えば商工会議所が入っているが、相手はどの程度認識しているのか。そういう確認をしているのか。載っているだけなのか。できるのなら協定書を交わすとか新聞に取材してもらったらどうなのか。

(回答：委員) 無理しないで、お互いにやっているといのを認識するのでいいのではないか。

(質問：委員)

働き方改革の進捗状況は？

(回答：副校長)

業務の明確化などしている。教職員健康管理年次消化 14.0 ⇒ 14.39に上昇。時間外  
在校時間は45時間を超える者4月～6月0.6増加、つぎ3か月2%減少、次の3か月1.  
3%減、80時間～100時間 最初3か月2%増、次4%減、次2%減と昨年度より減少傾  
向。年度初めは移動等の処理で増えたが、後は着実に減少。行事の減少、対外的な情報共有の推  
進、業務の明確化、外部の関係団体との連携で教員の負担を減らすなど働き方アクションプラン  
を推進中。

(質問：委員)

総合的な探究の時間の評価についてはどうか。

(回答：副校長)

数値では評価しない。担任が文章を用いて評価している。(要録、調査書)

(質問：委員)

保護者による評価3カ年比較がある。令和5年度の回答数が多いがどうしてか。信憑性はある  
のか？

(回答：副校長)

Formsで実施したため、1家庭1名の回答とならず、家族が複数回答した可能性がある。誰が答  
えたかも特定できない。令和5年度回答が多いのはこの1家庭複数名の回答のせいではないか。

(回答：荒木田) 4年度くらいからFormsでの回答が始まった。この時は紙も併用した。

(意見：委員)

ネットの方が便利だと思うが、eメッセージと紙ベースなど回答を増やすための方策があった  
方がいいのではないか。デジタル化を進めているので、過渡期ということ。推進が必要。

(意見：委員)

学校評価は回答率を上げたいというが、項目が多いという印象。項目をまとめて短くするのも効果的では。また、自由記載をつくれれば、どういうことを考えているが分かるのではないか。

(回答：校長)

項目は、過去の結果と比較したいから同じものを残さなくてはならないという訳ではない。ただ、自由記載してもらうのは（集計が）苦しい。

(質問：委員)

P T Aに入りたくないなどの意見はあるのか。

(回答：総務課長) 今のところない。岩手は加入率が高いようだ。

(質問：委員)

探究活動が進路につながったという意見が生徒からあったようだが、具体的にどうつながっているのか。

(回答：進路指導課長)

A O, 学校推薦ともに総合的な探究の時間での活動を概ね志望理由穂、エントリーシートに使っている。

(質問：委員)

総合学科の発表は素晴らしいと思ったので、進路実現につながるといいなと感じた。

進路活動が前倒しになるということだが総合的な探究は2年次、3年次が別にやっているようだが、どうやっていくのか。

(回答：進路指導課長) 探究活動は出来れば3年生の前半には終わってほしい。

(質問：委員)

総合的な探究の活動は、発表後発表資料をDVDや冊子などにするのか。

(回答：副校長) 要旨を作成している。⇒皆にも配る（予定）

(意見：委員)

別の学校の総合学科の発表を聞いたが、二高が出ていないのは残念だと思った。まとめた資料を届けて欲しい。去年の小野寺ゆら君すばらしかった。オリンピックに二高生卒業生が出ていて素晴らしいと感じた。

(意見：委員)

総合的な探求の取組を突き詰めて後輩が引き継ぐなど発展が欲しい。魅力化のパートナーとの連携を詰めていくと、もっと良いものができるのではないか。

(意見：委員)

学校評価については保護者の「教員が工夫して授業を行っている」などは高校で子供が教員とどういう関わりを持っているか分からないのでこういう評価は保護者として判断しかねる項目ではないかと思う。アンケートの設問を検討する場合は具体的すぎない感じで作ってもいいのではないか。他にも答えにくいものがあった。例をあげてもらったりしてもいいのかと感じる。生徒の回答で1、2（好意的）が8割行かないのがあったが、逆に高校生らしい回答かなと思う。興味がなかったり分からないものは内容は頭に入りにくいのではないか。

(意見：委員)

二高に入って良かった。入れて良かったという評価はなかなか出るものではない。すばらしい。

(意見：委員)

12月の発表会で総合的な探究学習の成果のべ20人弱発表。プレゼンを通しながら自己実現に向けた表現できたのではないか。その他の生徒に対しても何らかの形で探究、課題解決に関わる活動をきめ細かく行って欲しい。

**【連絡事項】**（副校長）

- ・令和7年度教育課程を提示している。第1回の評議会でご承認いただきたい。今年度と大きく変わっているところはない。
- ・運営規定の中にある、委員の方の来年度（の再任）については、今後確認させて頂く。

## 7 閉会